

## コロコロイングリッシュを始めて・・・

私には中学2年生の娘がいます。コロコロイングリッシュをスタートして半年が経ちました。そして同じく、半年前から塾で英会話のレッスンを受けています。

塾で習っている英会話の先生（ネイティブで、日本語はあまり話せないです。塾だけではなく、ベルリッツや他の学校でも会話中心のレッスンをしているプロ）によると、日本語を一切使わないレッスンに対して、日常会話はまったく問題なく成立しているそうです。また、発音も「No problem」だそうです。家庭環境の中に英語がない状態で、なぜ娘は英語が話せるようになったのか…。

まずは、娘がコロコロイングリッシュに出会うまで、どのような英語学習をしていたのか、をお伝えします。娘は、1歳ごろから4歳ごろまで英語の幼児教材に親しみを持っていました。教材といってもDVDを見たり、英語の歌を聞いたり歌ったりするだけでした。幼稚園では年中（4、5歳）くらいから日本人の先生による簡単な英語のお勉強タイムがあり、その時期から英語が嫌いになりました。それは、今まで聞いてきたネイティブの発音と園の先生の発音があまりにも違い、娘は今まで聞いてきた英語が“間違ってる！”と認識違いをしてしまったからでした。

それっきり英語から遠ざかる日々が過ぎました。しかし、小学校高学年になるにあたり、中学から始まる英語に少しでも早く慣れたほうがいいと思い、5年生から近所の英会話教室に1年間通いました。そのレッスンは、ネイティブの先生がオックスフォード大学出版局の児童向け英語教材を使って、言葉は英語のみ、というテキストと会話主体のレッスンをしていました。レッスン自体はよかったのですが、続けられなかったのは、週に1回のレッスンでは英語を“楽しむ”ことができなかったからでした。

そして中学生になりました。中学では英語が教科になっているため、「勉強して点数を取るもの」という意識へと変わっていきました。もちろん、単語を覚え、文法を覚え、それを組み立てていくことはとても大切なプロセスです。しかし、単語を覚えることに必死になり、文法をまとめ、英文の解説に追われている娘の姿を見ると、なんだか不安な気持ちになりました。中学1年生でこんなに苦労していたら、このまま私と同様、英語が苦手な大人になってしまうのではないかと…。

娘の中学1年次の英語の成績は、3か4。決して悪いわけではないですが、英語を理解しているかという疑問符が付きます。つまり、覚えたことに対して解答した結果がこれだ、ということです。応用問題は解けませんでした。中学2年生になり、娘は塾に通うことになりました。塾では複数教科と、英語は英会話として習うことになりました。

そんな矢先に、コロコロイングリッシュに出会いました。

やり始めて、すぐにコロコロにのめり込む娘の姿を見ました。初心者から無理なくスタートできるので、安心感もあったし、最初のステップはとても易しいものでした。毎日マイルージが貯まっていくことが楽しかったのかもしれません。レッスンの進捗を表す顔色マーク

を気にしていたもの知っています。「今日は、黄色が何個あるから頑張らなあかんねん！」  
「これやらなかったら赤になる〜！」と言いながらも、決して追われている様子ではありませんでした。いつも笑顔でコロコロに向き合っていました。娘は毎日、就寝前に30分程度の時間を作ってコロコロをしています。ノートパソコンをひざに乗せ、ヘッドフォンを装着して、5回ずつのリピートをちゃんと声に出してから次に進みます。コロコロで指示されているステップを確実にこなして進めているのです。

コロコロをやり始めて2ヶ月くらいが過ぎると、塾での英会話レッスンでも、みるみる結果が出てきました。ある日、娘が目を輝かせて「コロコロで聞いたフレーズをそのまま先生が話してた！びっくりしたけど、知ってたから何て言っているか分かった！」そして、「頭で考えずに答えが自然と返せた！」と言い出しました。この体験以降、娘の英語に対する感覚もぐんと良くなったようです。

英会話レッスンに行くたびに、「今日もコロコロと同じフレーズ出たで。」とか「コロコロで練習した単語やったから、まだ学校では習ってない単語を言われても分かるねん。」と、会話が成立していることに対して自信を持てるようになったようです。

では、この英会話レッスン、いったい1ヶ月で何回行っているのでしょうか。実は、たったの2回なんです。だからレッスンの先生も「こんなに習得の早い子は見たことがない」と大変驚かされていました。娘は月2回の英会話レッスンで英語が上達しただけではなく、毎日コツコツ、「コロコロイングリッシュ」をしているから、その相乗効果で上達したのです。それはもちろん現在進行形です。

そして現在、英会話レッスンはどのレベルで行われているかということ、「海外で生活していた大人が、英語を忘れないようにするためのレベル」だそうです。半年前まで英会話はおろか、英語の勉強でも手古摺っていたなんて、いったい誰が想像できるでしょうか。これをコロコロイングリッシュの成果と言わず、なんと言うのでしょうか。

コロコロイングリッシュは、やれば必ず成果が出せる教材です。そして、無理なく楽しみながら続けることが出来る教材です。きちんとしたステップさえ踏めば、英語の力は必ず身に付きます。コロコロイングリッシュをすることで、英語が話せるようになることは、きっと本人の自信にもなることでしょう。親としては、楽しみながらコロコロをしている娘の姿が見られることが何より嬉しいです。

英語の成績は、5になりました。娘の夢は、外国に行くこと♪だそうです。

その夢を見ることも叶えることも、コロコロイングリッシュが後押ししてくれる気がします。